

令和8（2026）年度 Global Youth指定科目開講一覧 【2023以降の申請者（新カリキュラム）】

		Global Youth (GY) 指定科目										2026開講状況			
学びの分野		授 業 科 目 名	必 選 別	開設学部等	単位数	必要 単位	前期		後期						
大分類	小分類						ターム	曜・時限	ターム	曜・時限					
外国語	英語Ⅰ	英語Ⅰ (Academic Essay Writing 1a)	△注1	教育機構	1	2	1 2 T	複数							
		英語Ⅰ (Academic Essay Writing 1b)			1				3 4 T	複数					
		英語Ⅰ (Academic Communication Skills1a)	△注2		1		1 2 T	複数							
		英語Ⅰ (Academic Communication Skills1b)			1				3 4 T	複数					
	英語Ⅱ	英語Ⅱ (Academic Essay Writing 2a)		1	1 2 T	複数									
		英語Ⅱ (Academic Essay Writing 2b)		1			3 4 T	複数							
		英語Ⅱ (Academic Communication Skills 2a)		1	1 2 T	複数									
		英語Ⅱ (Academic Communication Skills 2b)		1			3 4 T	複数							
	ドイツ語	ドイツ語Ⅰ a (文法)		1	1 2 T	月1									
		ドイツ語Ⅰ b (文法)		1			3 4 T	月1							
		ドイツ語Ⅰ a (運用)		1	1 2 T	水1									
		ドイツ語Ⅰ b (運用)		1	1 2 T	火2									
	フランス語	フランス語Ⅰ a (文法)		1	1 2 T	月1									
		フランス語Ⅰ b (文法)		1			3 4 T	月1							
		フランス語Ⅰ a (運用)		1	1 2 T	水1									
		フランス語Ⅰ b (運用)		1			3 4 T	水1							
	中国語	中国語Ⅰ a (文法)	△＊1	教育機構	1	2	1 2 T	月1							
		中国語Ⅰ b (文法)			1				3 4 T	月1					
		中国語Ⅰ a (運用)			1		1 2 T	水1							
		中国語Ⅰ b (運用)			1				3 4 T	水1					
	ロシア語	ロシア語Ⅰ a (文法)		1	1 2 T	月1									
		ロシア語Ⅰ b (文法)		1			3 4 T	月1							
		ロシア語Ⅰ a (運用)		1	1 2 T	水1									
		ロシア語Ⅰ b (運用)		1			3 4 T	水1							
	韓国語	韓国語Ⅰ a (文法)		1	1 2 T	月1									
		韓国語Ⅰ b (文法)		1			3 4 T	月1							
		韓国語Ⅰ a (運用)		1	1 2 T	水1									
		韓国語Ⅰ b (運用)		1			3 4 T	水1							
	イタリア語	イタリア語Ⅰ a (文法)		1	1 2 T	水1									
		イタリア語Ⅰ b (文法)		1			3 4 T	水1							
		イタリア語Ⅰ a (運用)		1	1 2 T	月1									
		イタリア語Ⅰ b (運用)		1			3 4 T	月1							
	スペイン語	スペイン語Ⅰ a (文法)		1	1 2 T	月1									
		スペイン語Ⅰ b (文法)		1			3 4 T	月1							
		スペイン語Ⅰ a (運用)		1	1 2 T	水1									
		スペイン語Ⅰ b (運用)		1			3 4 T	水1							
	SDGs	基礎	SDG s の基礎知識	△注3	教育機構	1	1	1 T	火4						
		Introduction to SDGs						3 4 T	OD						
		事例に学ぶ	SDG s と出会う	○		2	2	1 2 T	木4	3 4 T	OD				
		貧困・福祉	社会保障論	△	経済学部	2				3 T	木4 5				
社会課題		現代社会概説	工学部		2				3 4 T	水2					
子ども・教育		現代教育論	教育機構		2				3 T	火木2					
ジェンダー・ダイバーシティ		ジェンダー論入門	教育機構		2	2 T		火木2	4 T	火木2					
		AL2 (ダイバーシティ社会を作る)	教育機構		2				3 4 T	火5					
環境・都市		経済社会とジェンダー	経済学部		2										
		環境まちづくり	工学部		2	1 2 T		月4							
環境政策		開発援助における環境	教育機構		2										
		環境経済学 ＊2	経済学部		2				3 T	火4 5					
環境・技術		環境政策論 ＊2	工学部		2										
		環境問題と技術	教育学部		2			3 4 T	水2						
経済		経済学概説	教育機構		2	1 T	月水2								
		経済政策論			2 T	金1 2									
食料・農業		経済学部	2				3 T	金1 2							
健康		農学入門	教育機構		2	2 T	金1 2	4 T	金1 2						
エネルギー問題		健康科学	教育機構		2	1 T	月水1	4 T	金1 2						
生物と自然環境		エネルギー環境問題	工学部		2	1 2 T	金5								
サイエンスとテクノロジー		教養生物学	教育機構		2	2 T	月水2								
国際協力		科学技術と出会う	教育機構		2			3 T	月水1						
国際共修		開発と援助の潮流	教育機構		2										
		平和・パートナーシップ	「戦争の記憶・平和の思想」と出会う		教育機構	2			3 T	金3 4					
	外国語で行う授業科目	教育機構が指定する科目 ＊3													
	協定校留学取得科目	海外の大学において修得した科目 ＊4	○		8以上	8以上									
	ワークショップ	Global Studies & Sustainable Development (Contemporary Liberal Arts Workshop) ＊5 (旧 現代教養ワークショップ)	○	教育機構	1	1	2 T	水5							
	演習	グローバル・リーダー教養演習	○	教育機構	1	1			3 T	水5					
	インターンシップ	GYインターンシップ	○	教育機構	2	2	集中		集中						

この表の中から○印の必修科目及び△印の選択必修科目を含め、25単位以上修得すること。

※ODはオンデマンド

注1・注2 a,bいずれか1単位以上を修得する。

注3 留学後の学生は「SDG s の基礎知識」ではなく「Introduction to SDGs」を履修すること。

＊1 1つの外国語について2単位修得すること。

＊2 修得できるのは「環境経済学」または「環境政策論」のどちらか1科目。

＊3 年度により指定科目が異なることがある。

＊4 学生が海外の大学において修得した授業科目のうちGYプログラムに関連すると認められる授業科目。

＊5 Global Studies & Sustainable Development (Contemporary Liberal Arts Workshop) は、原則として留学前に修得すること。